

前へ

岐宿中学校だより
文責：都々木

長崎新聞「シニア俳壇・歌壇」入選

春風に闘志を乗せて船に乗る

三年 谷川 泰成

島民でない方は「魚釣りに行くの?」と思うでしょう。島に住む中学生ならではの、島に住む者だけがわかる作品。中総体前の遠征に出かけました。結果はどうでしたか?

葉桜や挑戦しよと背中押す

三年 田端 佳果

「挑戦せよ」ではどうでしょう。薄緑の新芽の色は、そういう気にさせてくれますね。成功も挫折も挑戦した者だけが味わうことが出来ます。

十連休木陰に入り何するか快晴の空 見つめて思索す

二年 小柳 海晴

思索したとおりに過ごせたでしょうか?連休でさえ計画通りには進まないのに、ましてや長くて人生が思う通りに行くはずもない。「次どうするか」を思索し続けるのが人生です。

五月晴れバラモン風のうなる音揺れる 大空雲ひとつなし

二年 萬田 幸佑

弦が「ブーン」となる音と不安定に揺れるバラモン風。実際に見た者でないとい詠めない歌です。家族で出掛けたのでしょうか?

【資質・能力】コーナー

今回も「表現力・発信力」。「どのような場でも自信を持って自分の考えを述べる」とことは、大人でも難しいことです。しかし、「働く」うえでは絶対に必要な力です。今年度の陸上大会の激励式は、各種目毎の代表が決意の言葉を述べる、という形式でした。事前に代表を決めておくのではなく、その場での突然の指名です。指名を受けた二〇名前後の選手全員が、内容に差はありませんでしたが、堂々と「相手に伝わる」ように表現・発信できました。最後の全員での「決めポーズ」も工夫され、決意のほどが伝わってきました。



行事予定

- 7月
- 二日(火) 学年PTA・高校説明会(N/6年 給食試食会・食育講話(1年))
- 四日(木) 水泳指導(1年)
- 六日(土) 社明弁論・野球県下選手権予選 通信陸上
- 七日(日) 町内球技大会
- 一〇日(水) 夏の交通安全運動(〜19日)
- 一日(木) 水泳指導(2年)
- 三日(土) 陸上新人大会
- 五日(月) 海の日
- 九日(金) 第一学期終業式
- 二一日(日) 家庭の日
- 二七日(土) 県中総体(〜28日)



【雑感】岐宿中生徒の合い言葉に「一歩前」がある。もう十年以上受け継がれてきた精神である。岐宿中学校が「育成をめざす資質・能力」にも「一歩前」の精神があり、「自らの夢や理想の実現に向かって、あきらめず一歩ずつ着実に取り組む」としている▼6/4(火)にマンガの授業を行った。マンガとは、9×9=81個のマスにの中心に、自分の夢や目標を記入し、周囲のマスに夢の実現のために実践していくことを記入するというものだ。大リーガー大谷翔平選手のマンガが有名だ▼子どもたちは苦戦した。中心に据えるべき『夢・目標』が無いのだ。短期的な目標はいくらでもあるのだから、「十年後」というような「少しだけ遠くを見る」という経験が無いからだろう。「経験させる」責任は学校と保護者にある。十年後を語り、考え、あれこれ悩む経験をさせなければならぬ。繰り返して、繰り返して。「夢・目標」も持たせず、一体何に向かって「あきらめず一歩ずつ着実に」取り組めというのか?▼キャリア教育の本質は、子どもが就きたい職業に就く資質・能力をつけることではない。それは理想ではあるが叶わない場合の方がきつと多い。本人の努力が足りなかったと片付けるのは簡単でその方が楽だ。望まない場所であっても『置かれた場所で咲く』力をつけること。これが本質であり人生を『生き抜く力』と同義である▼今月中には作成した自分のマンガを持ち帰ると思います。押印するだけではなく、お子さんと一緒に、将来を語り、考えさせる機会として頂ければ幸いです。

子どもに伝えたい「いい言葉」

置かれた場所で咲きなさい

渡辺 和子